



「エッ、何で…」。ごく当たり前の市民・国民の願いに、「理由」も述べずに「反対」…。議長までも同調。

12月議会最終日の17日、議員から提案された意見書案の採決が行われました。「活断層の疑いがある原発は直ちに停止を」は、自民系・清風クラブと公明が反対。「被災者本位の復興予算配分を求める」と「米兵犯罪の根絶を求める」は、ともに自民系・清風クラブが反対し可否同数で議長が「否決」の態度をとったためにいずれも不採択となりました。しかも全く「反対討論」なしに黙って反対。これで議員の役割果たしているといえるのでしょうか。

12月議会・主な議案に対する態度

○は賛成、●は反対

主な議案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
教育委員・監査委員・人権擁護委員等の人事に関わる議案 提案は個別	市長			○	○	○	○	○
貴生川幼保廃園にかかる訴訟事件の和解につき議決を求める	市長	討論なし		○	○	○	○	○
道路占用料を減額する条例改正案	市長	討論なし		●	○	○	○	○
24年度一般会計補正予算	市長	討論なし		○	○	○	○	○
少人数学級の実現平成25年度教育予算の確保、義務教育費国庫負担制度堅持、拡充を求める意見書	中西弥兵衛	討論なし		○	○	○	○	○
「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書	中西弥兵衛	なし	小西喜代次	●	○	●	●	○
次代を担う若者世代支援策を求める意見書	白坂萬里子	討論なし		○	○	○	○	○
防災・減災体制再構築推進基本法の制定を求める意見書	加藤和孝	白坂萬里子	山岡光広	●	○	○	○	○
牛海綿状脳症(BSE)の米国産牛肉の輸入緩和に反対する意見書	小松正人	討論なし		○	○	●	●	○
活断層の疑いのある原発は直ちに停止することを求める意見書	安井直明	山岡光広	なし	○	●	○	○	●
被災者本位の復興予算配分を求める意見書	山岡光広	討論なし		○	●	○	○	○
米兵犯罪の根絶を求める意見書	小西喜代次	小松正人	なし	○	●	○	○	○

議員は立場の違いによって考え方が違って当たり前です。大事なことは、市民・国民の平和と暮らしを守る立場からの活発な議論の後、是非を問う議決権を行使すべきです。理由も述べずに黙って反対というのは、いかなるものでしょうか。

《「被災者本位の復興予算配分を求める」「米兵犯罪の根絶を求める」両意見書に理由も述べずに黙って反対した議員》

橋本恒典、谷永兼二、的場計利、舩藤男、鶴飼勲、野田卓治、伴資男、辻重治、中西弥兵衛、岩田孝之、中島茂、橋本律子、服部治男。議長＝村山庄衛 以上、敬称略。

今回の意見書は、市民・国民の極々当たり前の願い。「復興予算の流用はやめて被災者にまわせ」「相次ぐ米兵の犯罪はやめて」切なる願いではありませんか。これを「反対」とするのはどういふことでしょうか。

市長選後初の議会

中嶋市長の政治姿勢・公約を質す

小松正人議員が代表質問



市長選後初の定例議会が11月21日から12月17日まで開かれました。冒頭、中嶋市長の所信表明に対する各会派の代表質問があり、日本共産党は小松正人議員が代表質問にたちました。

小松議員はまず、地方自治体の長として国政の焦点となつてきている消費税、原発、TPP、憲法問題について市長の政治姿勢を質しました。市長は、TPPについて「JAや農業関係者と連携しながら営農意欲の継続が将来にわたって取れるよう決然と対応していく」と答えたものの、消費税については「国、地方いずれにとつても大切な財源」、原発即時ゼロは「国の責任で判断すべき」、憲法改正については「国の基本的事項」としていずれも判断を避けました。2期8年間の市政運営については、小松議員が「子どもの医療費助成や獣害対策など評価できる点はあるものの、自治振興会や貴生川幼稚園・保育園廃園問題、地域情報基盤などの問題は、行政主導が目立ち、市民の意

市民要求実現は評価、行政主導・市民負担増などは問題点鋭く指摘

見を取り入れ、合意を図るといふ視点が欠けている」と問題点を指摘。市長の認識を質しました。次に、市長選時の5つの柱「守る・育てる・創る・変える・伝える」と項目の Manifesto について、その問題点を指摘しながら市民要求については新年度予算に反映すべきと求めました。このなかで、日常生活給付事業の給付対象品目の拡充、介護激励金特別加算、特養ホームは24年から26年にかけて増床48床・新設60床、地域密着型特養ホーム新設29床計画、子どもの通院助成も中学校までの所得制限を緩和検討、広島平和記念式典への小学生派遣参加の拡大などについて、日本共産党がこれまで再三要望してきたことが反映されたもので、新年度予算案にも盛り込むことを明らかにしました。但し「変える」の項では、庁舎建設や企業誘致、滞納徴収強化、市職員に民間人を登用する問題については、姿勢を質しました。

《代表質問》 ◆国民を苦しめる国の重要問題について市長の所見を問う。◆2期8年の市政運営にかかわつての問題点を指摘し、所見を問う。◆市長選の結果と Manifesto、所信表明について問う。

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2013年 1月1日 NO.119



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨
Tel 83-0765
Fax 83-0765

山岡光広・安井直明・小西喜代次議員が一般質問

一般質問には、14名の議員が質問にたちました。山岡光広、安井直明、小西喜代次の各議員（発言順）が、切実な市民の要求実現へ実態調査をもとに迫りました。

山岡光広議員



◆介護保険法改正による生活援助時間短縮の影響について◆近年被害が広がりつつあるナラ枯れ対策について◆ため池の維持管理・「ユスルベ池」の修復について◆地域情報化基盤、特に音声告知端末と共聴施設の移行に関して

問 介護保険改正で在宅介護の柱「生活援助」の基本時間が短縮され影響が出ている。実態調査し改善するべき。
健康福祉部長 60分までが45分となった。国保連合会を通じて調査依頼中。適切な介護サービスが提供できるよう努めていく。
問 ナラ枯れ被害が広がっている。実態調査と早期の対策を。
産業経済部長 市内では21年度から水口北部で確認、今日では全域に広がっており毎年夏に被害状況の把握に努めている。古木・名木については個別の対策で保護している。
問 棚田が多い地域にはため池が多い。多面的な機能をもつが施設が老朽化し修繕を余儀なくされている。台帳を整備し順次計画的に対策を講じるべき。甲南のユスルベ池のシャフトが折れ修繕が求められている事案については新年度対応ではなく補正で対応を。
産業経済部長 ため池台帳により把握しているが、日常管理は地元。更新時期の必要性は認識している。ユスルベ池の修繕については、春の耕作に支障が生じないように対応する。
問 情報基盤・音声告知の承諾状況は。共聴施設の移行は。
総合政策部長 水口81%、信楽87%。共聴は形態によって異なる。地元で説明・協議中。

安井直明議員



◆生活保護行政の現状と扶養義務◆原発撤退の声は日増しに大きくなっている。自然エネルギーへの転換のためにも太陽光発電など市の独自補助をすべきだ◆成年後見人制度の後見人として市長も参加できるように◆国庫補助された就学援助費の拡大を

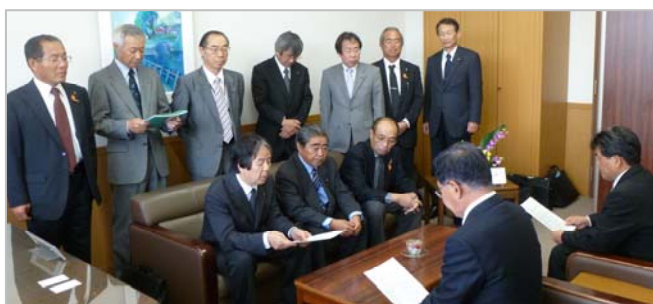
問 生活保護行政の現状と扶養義務はどのように説明しているのか。
市長 市も増加傾向にある。見直し等については、国や政府の間で議論や検討が行われており、市の国の動向を注視していく。
福祉事務局長 扶養義務者の存否を確認し扶養できるかどうか紹介している。
問 原発撤退の声は日増しに大きくなっていく。自然エネルギーへの転換のためにも、以前に甲賀市で実施していた太陽光発電など市の独自補助をすべきである。
市長 国庫の補助制度や設置費用の低下、余剰電力買取制度などにより、太陽光発電は、当初と比べ導入しやすい環境が整ってきており、普及率が高くなっていることから、市の独自補助は考えていない。公共施設への拡大を図っていく。
問 成年後見人制度の後見人として市長も参加できるように。
市長 市長がなることは適当ではないが、法人を核として検討を行っている。
問 国庫補助が導入された就学援助費の拡大を。
教育長 要保護はPTA会費等生保の教育費の中で措置。要保護は、甲賀市は高い水準にあり、費目の追加は考えていない。

小西喜代次議員



◆子どもの通院医療費無料化対象枠の拡大◆水口と信楽の給食センターの整備は十分な検討を◆同和行政終結へ一部運動団体との関係を見直し◆信楽高原鉄道との関係について◆台風被害に際して納得のできる災害復旧を

問 子どもの通院医療費無料化の対象枠の拡大を求める。
市長 実施時期や拡大幅は、財源確保の問題も含め検討する。
問 水口と信楽の給食センターの整備、建て替えて、現職員の雇用、労働条件の確保、業務内容も含め職員との話し合いが必要。
教育部長 当然のことで、十分意を用いながら検討していく。
問 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。
副市長 あらゆる人権課題を総合的に推進している。同和問題に特化あるいは、一部の運動団体と特別な関係では進めていない。
問 部落解放研究第46回全国集会への参加理由は何か。今後同様集会に負担金支出や市職員動員をやるべきではないか。
副市長 集会実行委員会の一団体であり、管理職研修として参加。今後の施策は、十分に精査・検討をしていく考えである。
問 台風17号による信楽町の玉桂寺横の自然災害などに総合的な対応が必要ではないか。
建設部長 他部局及び関係機関などと、引き続き模索していく。



新議長に議会の民主化申入れ 3会派共同で

11月2日臨時議会が開かれ、議会人事に関わる選挙で、議長に村山庄衛氏、副議長に中島茂氏、監査に野田卓治氏が多数で選出されました。日本共産党、甲政クラブ、正政会の3会派は同日、新議長に対して共同で、議会人事の民主的構成をはじめ議会運営の民主化について申し入れました（写真）。